

令和2年度 青森県県土整備部優良工事表彰

工事の概要

工事名	奥入瀬川地震・高潮対策河川工事		
受注者名	株式会社 柏崎組		
工事場所	上北郡おいらせ町東前川原地内	請負金額	88,922,000
工期	平成30年10月26日～令和2年3月25日	成績評定点	88点
完成年月日	令和2年3月31日	推薦公所	上北地域県民局地域整備部
主任(監理)技術者	木村 千代明	優良技術者表彰	総括監督員 鹿内 修
工事内容	陸閘据付工 N=1式 陸閘製作工 N=1式	主任監督員	藤森 由美子
		監督員	佐藤 豊

推薦理由

本工事は、奥入瀬川の地震・高潮対策の堤防高上げに伴い、陸閘ゲートを改築した工事である。
バックホウ運転者が席に座ったままモニターにて積込重量を確認することができる荷重判定装置付バックホウを使用し、過積載の防止、施工の効率化を図った。
また、コンクリート打設後の養生を、無人で行うタイマー付き自動散水装置を設置し、夜間・土日に散水する勤務をなくし働き方改革に取り組んだ。
以上のように、「工事等に関し新技術や新工法の活用、省力化等の創意工夫に努め、生産性向上に特に顕著な成果をあげたもの」として、他の模範となることから青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

工事写真等



受賞コメント

この度は、県土整備部優良工事表彰を賜り、誠にありがとうございます。受賞にあたり、御指導くださりました監督職員の皆様、御協力を頂きました百石町漁業協同組合をはじめとする関係各位の皆様には心より感謝申し上げます。

今回の受賞を励みとし、弊社の経営理念である【誠実を旨とし地域社会に貢献する】を胸に、お客様に必要とされる会社を目指し邁進していく所存でございます。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
柏崎 尚久



現場代理人
木村 千代明

令和2年度 青森県県土整備部優良工事表彰

工事の概要

工事名	野辺地港高潮対策（離岸堤嵩上げ）工事		
受注者名	丸井重機建設株式会社		
工事場所	上北郡野辺地町字馬門地先	請負金額	150,018,000円
工期	令和元年8月31日～令和2年3月25日	成績評定点	87点
完成年月日	令和2年3月13日	推薦公所	上北地域県民局地域整備部
主任（監理）技術者	矢部 貴幸	優良技術者表彰	総括監督員 久慈 浩一
工事内容	施行延長 L=116.0m 異形ブロック製作 N=1,216個 異形ブロック据付 N=1,291個	主任監督員	
		監督員	竹鼻 一佐

推薦理由

本工事は野辺地港の海岸保全施設である馬門離岸堤の改良(離岸堤嵩上げ)を行ったものである。
 当該工事はブロック据付期間が冬季風浪による海象条件の厳しい期間と重なることから、十分なブロック据付期間を確保するために、ブロック製作を2ヤードで並行して実施するなどして製作期間の短縮を図ったほか、ブロックのコンリート打設にあたり、スパイラル型内部振動機やスパイラル型電動ドリルを用いることにより、ブロック仕上がり面の気泡の軽減を図り、品質の向上に努めた。また、地盤線測量において、マルチビーム水中測量を実施し、少人数、短時間の作業で海底の詳細な地形データを取得するなど、生産性の向上に努めた。以上のように困難な自然条件を克服し、かつ、品質向上等に取り組むなど、顕著な成果をあげており、他の模範となる優良工事であることから、青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

工事写真等



異形ブロック据付



異形ブロック製作



マルチビーム装置



スパイラル型内部振動機



3次元計測データ

受賞コメント

この度は、県土整備部長表彰を賜り、誠にありがとうございます。ご指導をいただきました監督職員の皆様、ご協力をいただいた関係各位の皆様には心から感謝を申し上げます。

この受賞を励みとし、より一層技術力の向上と改善に努め、環境に配慮した施工を心掛け、地域社会の発展に貢献して参りたいと思っておりますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



代表取締役
丸井 哲人



監理技術者
矢部 貴幸

令和2年度 青森県県土整備部優良工事表彰

工事の概要

工事名	国道279号橋梁整備（北BP（仮）三保川橋）工事		
受注者名	田中建設 株式会社		
工事場所	上北郡横浜町字三保野地内	請負金額	159,310,800円
工期	平成30年9月22日～令和元年9月30日	成績評定点	87点
完成年月日	令和元年9月30日	推薦公所	上北地域県民局地域整備部
主任（監理）技術者	米田 文明	優良技術者表彰	総括監督員 内海 達也
工事内容	施工数量 N=1基 鋼管杭 N=24本 橋台躯体工 N=1式	主任監督員	小川 たける
		監督員	小坂 碩志

推薦理由

本工事は、下北・南部・青森地方生活圏の地域間連携強化、下北地方の産業等の発展を支援する下北半島縦貫道路の横浜北BP入工区において、橋梁下部工(橋台)の施工を主とした橋梁整備工事である。

本工事は、橋長103.0mの橋梁におけるA1橋台を施工するものであり、鋼管杭（Φ1000mm、L=12.5m、24本）の施工を伴う工事であるが、工事箇所周辺は、特に冬期間の風が強く、刻々と変化する自然条件を意識しつつ安全に工事を進める必要があった。

そのような状況において本工事では、クレーン作業時において吊荷警報器を使用し、予め危険の予知・回避を可能とする対策をとったほか、特に冬期間は激しい風雪を伴い、厳しい自然環境にさらされる状況となる地域であることから、橋台施工においては品質管理基準を遵守したコンクリート打設・養生時の対策を十分に行い、より品質の高い構造物の施工を目指した。

また、三本木農業高等学校からの現場実習生の受け入れや、現場周辺の国道279号における清掃活動の実施など、後進の指導や建設業のイメージアップ向上につながる地域貢献を積極的に行った。

以上のように、「困難な自然的、社会的条件を克服して工事等を完成させ、優れた成果をあげたもの」として他の模範となることから、青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

工事写真等

【完成】



【吊荷警報器使用状況】



【施工状況（鋼管杭）】



【施工状況（均しコンクリート）】



【施工状況（橋台躯体）】



【コンクリート養生（湿潤状態確保）】



【現場実習生の受け入れ】



受賞コメント

この度は、栄誉ある青森県県土整備部優良工事表彰を賜り、誠にありがとうございます。また、工事の施工にあたりご指導を賜りました監督職員の皆様、ご協力を頂きました関係者の皆様、並びに地域の皆様にご心より感謝申し上げます。

本工事は、重要構造物の橋台工事が主体であることから、コンクリートの打設方法、温度管理、養生対策を重点的に管理することにより、良品・良好な出来栄の橋台を完成させることができました。また、主な作業である足場上の高所の作業が、無事故無災害達成のための大きなポイントであったことから、施工者一丸となり作業手順書を励行し、安全最優先で作業を行いました。

今回の受賞を励みとし、さらなる品質の向上と技術の研鑽に努め、地域社会に貢献できるよう一層精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
田中 大文



監理技術者
米田 文明